



2月14日をもって令和5年度の初任者研修が終了しました。1年間、該当校の管理職・指導教員をはじめとする教職員の皆様、各市町組合教育委員会の関係者の皆様には、初任者研修の実施において、ご理解とご協力を賜わり心より感謝申し上げます。

また、リフレクション通信の活用に関して、ご協力いただきましたこと重ねて感謝申し上げます。

多忙を極める学校現場において、なかなか難しいかもしれませんが、学校全体で初任者を支え・認め・励ます体制づくりを充実させることが必要であると考えます。今後も県立教育研修所と指導教員、該当校の管理職をはじめとする全ての教職員、市町組合教育委員会が連携を図りながら、「チーム兵庫」として一体となって初任者の実践的指導力向上に向けた支援を図っていきたいと考えております。最終号として、初任者研修の最終回(校種別で行う研修第8回)の「初任者研修の1年間の振り返り」を、各グループ、各教科の内容を一部紹介します。

## ◆初任者研修を振り返って【小学校】◆

### A1グループ

○この一年間でたくさんのことを学びました。一つ目は、学級づくりの大切さです。授業づくりをする上で学級づくりは土台となるということを知り、実際に大切だと痛感しました。クラスの雰囲気や安心できるものになっていけば、発表や交流での発言も変わると分かりました。来年度は特に、学級づくりに重点を置きたいと思っております。二つ目は、めざす子どもの姿を明確にすることです。授業づくりにおいて、ゴールが明確でないと発問や学習活動がぼやけてしまいます。三つ目は、何でも決めつけないことです。私自身今まで「たぶん〜だろう。」など、決めつけていたことがたくさんありました。初任者研修を通して、様々な視点から物事を考えることができたので、今後も視野を広くして取り組んでいきたいと思っております。

### A2グループ

- 初任者研修の最大の利点は、様々な考え方に触れることができるということだと私は思います。教員という仕事は考え方が人それぞれでやり方はいくつもあり、正解がないと思っています。今日で初任者研修が終わってしまっていますが、今後も自分の考えにとらわれ過ぎず、たくさんの考えに触れながら、学級づくりや授業づくりに取り組んでいきたいと思っております。
- めざす子どもの姿を意識した授業づくりの大切さを学びました。ねらいや振り返りもそれに沿ったものにするだけで一貫した指導ができ、授業に迷いやブレがなくなることを実感しました。初任者研修で学んだことを今後の実践で生かしていきます。

## A3グループ

- 4月から教員生活が始まり、何もかもが1からのスタートでした。そんな中で、研修を通して授業づくりや教材研究、子ども達との関わり方、保護者との信頼関係の構築などたくさんのことを学びました。子ども達のことをよく知り、その実態にあった指導方法や支援を考える大切も学びました。初任者研修で学んだことを土台に、教員として成長していきたいです。
- 初任者研修は、授業づくりについてじっくりと真剣に考えることができる貴重な時間でした。同期の仲間と様々なテーマについて協議することで、自分自身の成長や普段気付けない部分を実感することができました。2年次研修は日数が少ないので、自分から学ぶ姿勢を大事にしたいと思います。

## A4グループ

- 初任者研修を通して、授業に対する意識が変わりました。授業のゴールを見据えて、めざす子どもの姿を意識するようになりました。めざす子どもの姿を基に中心発問を考えたり、問い返しを考えたりするようになりました。また、ねらいを明確にして、この学習で子ども達に身に付けさせたい力は何かを常に意識するようになりました。
- ただひたすら教科書通りに授業を進めることで精一杯でした。研修後は、少し余裕をもって落ち着いて授業ができるようになりました。めざす子どもの姿をイメージして学習計画を立て、授業を考えられるようになったことは自分自身の成長だと感じます。これからも学び続ける教員であるために、現状に満足せずいろいろなことに挑戦したいと思います。

## B1グループ

- 初任者研修を通して、授業づくりや学級づくり、生徒指導などたくさんのことを学ぶことができました。学んでいく中で、同期の先生方と交流しながらいろいろな取組や考え方を知ることができたので、さらに学びを深めることができました。
- 初任者研修で学んだこと全部をすぐに実践することはできなかつたのですが、これからも少しずつ取り組んでいって、自分にできることを増やしていきたいと思っています。これから悩むことがあれば、初任者研修の資料を振り返ったり、同期と話したりすることで初心に立ち返り、常に学ぶ姿勢をもち続けたいと思います。

## B2グループ

- 初任者研修を振り返って、1年経つのが本当に早かったと思いました。たくさんのことを学びましたが、特にどの教科でも教えていただいたように「めざす子どもの姿を具体的にイメージする」ということが、大切でだと実感しました。めざす子どもの姿をイメージすることで、授業の中で考えさせたいポイントや学習活動を焦点化することができます。そうすることで、スムーズに授業が進むようになったと思います。今後は、研修所で学んだことを生かし、授業づくりや学級づくりで自分の色が出せるように勉強していきたいです。この初任者研修でできた繋がりも大切にしていきます。
- この1年間の研修でたくさんのことを学びました。研修で学んだことは、学校で絶対に取り組もうと頑張ってきました。やってみてうまくいかなかったことはたくさんありますが、挑戦したことが大事なのかなと思っています。この初任者研修で学んだことを土台として、これからも自己研鑽に励みます。

## B3グループ

- 本当にたくさんのことを学びました。1つ目は、子ども達の声を大切にすることです。特別活動を軸とした学級経営はもちろん、授業でも子ども達の意見を基にめあてを立てたり、子ども同士の発言をつないだりして授業をすることの重要性に気がきました。2つ目は、自分自身の人間性についてです。自分はどんな先生になりたいのか、教員として一人の人間として、子ども達に何を残してあげたいのかを考える機会がたくさんありました。
- 改めて教員の立場や責任について考えることが研修を通じてたくさんありました。どの教育活動においても、子ども達のためにできることは何かを念頭に置いて取り組んでいくことが大切であり、子ども達が成長する姿を間近で見られることがこの職業のやりがいだと感じました。

## B4グループ

- 大学でもたくさんのことを学びましたが、実際に学校で仕事をすると悩みや不安が出てきました。そんな悩みや不安は、初任者研修で少しずつ解消されていきました。職場から離れて、じっくりと授業づくりのことや子ども達との関わり方について考える時間は、とても有意義なものでした。学校に戻ってすぐに実践してみようと思えるものが多く、自分自身の学びが子ども達の学びにつながっていることが実感でき、本当に嬉しかったです。
- 来年度から今年のような手厚い初任者指導はなく、自分で学び、授業をつくることが中心になります。これからは自分から、周りの先生方に相談したり、学ぶ機会をつくったりして教員として自立できるように頑張っていきたいです。

## ◆初任者研修を振り返って【中学校】◆

### 国語科

- 4月当初は、指導書や教科書と睨めっこしながら授業を考えていましたが、「めざす子どもの姿」を考えるようになり、ディベートを取り入れてみようか、書く活動を増やそうかなど授業を考えることがとても楽しくなりました。今後も初任者研修で学んだことを大切に授業づくりについて考えてきたいと思います。また、初任者研修で他の先生と交流する機会がたくさんあり、自分では気付いていなかったことに気付くことができました。この同期の繋がりをこれからも大切にしていきたいと思います。
- 自分の授業づくりの考え方が教員主体から生徒主体に変わりました。教員がなんとか学習内容を終わらせようとするのではなく、めざす子どもの姿や生徒の実態に応じて学習活動を選択できるようになりました。今後の授業づくりでは、教員から与えられた課題を解決するだけでなく、生徒自身が新たな問いを見付けられるようにしていきたいと思っています。

### 社会科

- 初任者研修で一番印象に残っていることは、同じ教科の先生方と授業づくりについて話し合えたことです。社会科でも先生によって指導方法が様々だと分かり、自分が授業を考える時、「あの先生ならどう進めるかな。」と考えるようになりました。自分自身の成長はまだまだ実感できていない状態ですが、強いて言うなら人前で話すことに自信がもてるようになりました。今後、初任者研修で学んだことを思い出しながら、少しずつ成長していければいいなと思っています。
- 一年を通して、めあての設定に力を注ぐようになりました。また、授業づくりで学んだことを今後も意識して、子ども達が見通しをもち、多面的・多角的に学ぶことができる授業づくりをめざしていきたいと思います。

## 数学科

- 今年一年は生徒との関わりの中でなかなかうまくいかないことが多く、精神的に辛いこともありました。その中で、研修がよい意味でリフレッシュする機会となり、何とか一年間やり切ることができました。成長したことはあまりないかもしれませんが、同期の仲間のお話を聞く中で、そんな考え方もあるのかと気付かされたことがたくさんありました。来年度は、自分一人で考えてもうまくいかないことがあると思うので、勤務校でもいろいろな先生と会話しながら取り組もうと思います。
- 一年を通して、めざす子どもの姿を見据えた授業を意識することができました。数学科では適応問題をどのように解かせたいか、道徳科では授業後のワークシートでどのような振り返りを書かせたいかというように具体的にゴールを設定して授業ができるようになりました。

## 理科

- 今の自分を振り返ると、初任者研修で学んだことを授業でたくさん活用していることに気がきました。自分の中で授業は「教えるもの」としての意識で今までやってきましたが、めざす子どもの姿を考えていくことで、授業をするということは子ども達が自ら学ぶことを「支える」というものだ気がきました。今後は子ども達がさらに学びたいと思えるような授業づくりをめざしていきたいです。
- 4月頃は教科書の内容をほぼすべて丁寧に説明をしようとしてしまいましたが、その授業で絶対に押さえることを絞り、展開や発問を考えるようにしました。生徒が話を聞くばかりでつまらないだろうなと感じたことから、授業展開の意識を変えました。まだまだ、説明の分かりにくさや展開の無駄もあると思いますが、その時間で身に付けさせたい力を意識していきたいです。

## 音楽科

- 自立の本当の意味を考えながら過ごした一年でした。初任者研修の最終日を迎えられることを職場の先生方に感謝申し上げたいと思います。人は人の中でしか生きられない、気付いていないだけで常に支えてもらっているのだということに立ち返ることができました。今度は自分がその立場になれるように研鑽を重ねたいです。担当指導主事と同期とのつながりが本当にありがたく、担任の先生と生徒の気持ちで勉強させていただき本当にありがたかったです。
- 学習指導要領は、授業づくりに関するたくさんヒント、それ以上に答えが詰まっているなど初任者研修を通して感じました。今まで、何となく教科書に沿って授業を進めていましたが、学習指導要領に基づいた授業づくりをこれからも行いたいと思っています。

## 美術科

- この一年で自分の授業づくりが大きく変わったと思います。今までは題材から決めていましたが、子ども達にいろいろな経験をしてもらいたいという思いや、どんな力を身に付けてほしいかという観点から授業構想を練るようになりました。題材だけではなく、学びのサポートとなる ICT 活用や板書、振り返りシートを工夫することもできました。次年度は体験型の鑑賞に取り組むことや対話的な活動をさらに取り入れていきたいと思っています。
- 初任者研修では、学習指導以外にも、子ども達や保護者の信頼確保に向けてどんなことを意識すればいいかなど、実践的な学びを得る事ができたように思います。何より、美術科の先生方はもちろんいろいろな教科の先生方から話を聞いたことがよかったです。これからも学び続ける姿勢を持ち、自己研鑽に努めたいと思っています。

## 保健体育科

- この一年の初任者研修を振り返って、自分は4月と比べると大きく変容しました。特に、教科指導ではめざす子どもの姿を具体的にイメージして、それに迫るためのめあての設定を工夫するようになりました。また、学習指導要領に基づく授業展開など、講師時代には深く考えることができなかったことを考えるようになりました。自分の中で新たな視点を得ることができ、授業をよりよくしていこうと思う気持ちが強くなりました。各回で学んだことを自分の力にしていけるために、自分自身が絶えず子ども達の姿を想像して、授業づくりに取り組んでいきたいです。
- 初任者研修を通して、授業づくりについて議論する楽しさが分かりました。普段、学校にいる時は、様々な業務でじっくりと授業について考える時間が取れていません。研修で授業のことについて同期と協議することは、とても刺激になりました。来年度は、どの単元でも同じようなレベルで授業ができるように、早め早めの準備をしていきたいです。

## 技術・家庭科（技術分野）

- 今年、教員として右も左も分からない状態でしたが、初任者研修で定期的に同期の仲間に出会い、授業のこと、評価のこと、生徒指導のことなど、たくさんの相談できたことで自分の成長につながったと思います。来年度は、もっと授業場面に限らず ICT 活用に力を入れていきたいです。
- この1年間でたいへん多くのことを学び、教員として成長することができたと感じています。大学の時に学んだ知識以上に、学校現場では求められるものは大きいと感じています。特に、生徒一人一人が考えていることを確実に理解し寄り添うことの難しさを痛感した1年でした。今は副担任という立場ですが、いずれ担任になって生徒達と関わる時間も増えると思うので、生徒一人一人の成長につながるよう指導・支援をしていきたいと思っています。

## 技術・家庭科（家庭分野）

- 初任研を通じて、授業づくりの考え方が大きく変わりました。今までは生徒が興味を持ってくれるような活動やワークシートの作成を意識していましたが「めざす子どもの姿」を具体的にイメージして授業をつくる大切さを学びました。
- 家庭科という教科で、今のままの生活でも十分だけれど、自分でよりよい生活をつくるためにどのようなことができるかを子ども達に考えさせる授業をつくっていきたいです。また、日々の授業に実践的・体験的な活動を更に取り入れたいと考えています。行き詰まった時には先輩教員や初任者の同期の仲間に相談していきたいと思っています。

## 外国語科

- 1年間の初任者研修を通して、見通しをもつことの大切さを身をもって実感しました。見通しをもつことが大切だということは学校や研修など様々なところで聞いて頭では分かっていましたが、実際に見通しをもって授業づくりをすることで、自分に余裕が生まれ、生徒も見通しをもって授業を受けることができるようになったと思います。
- 1年間、外国語科グループで授業づくりについて学び、たくさんのスキルが身に付いたと感じています。他の先生方が実践していることや大切にしていることを聞き、自分の授業にも取り入れてみるなど、学んだことを実践につなげることができて嬉しかったです。

過去の『リフレクション通信』は右の二次元コードからダウンロードすることができます。

<https://www.hyogo-c.ed.jp/~kenshu/stepup/con2/Gwakate.php>

